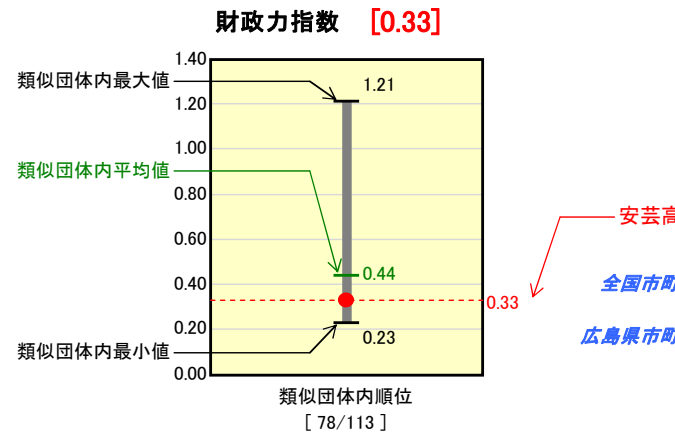


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

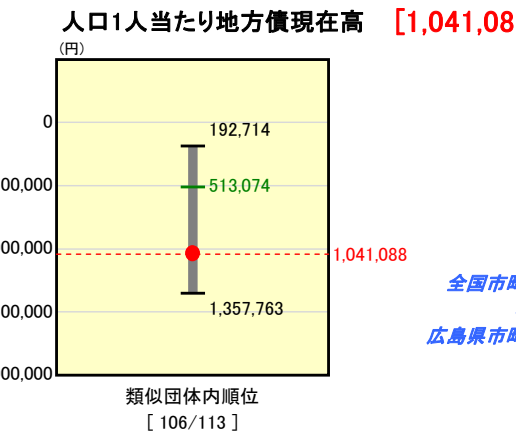
## 広島県 安芸高田市

人口	33,653 人(H18.3.31現在)
面積	538.17 km <sup>2</sup>
歳入総額	22,176,929 千円
歳出総額	21,513,267 千円
実質収支	420,024 千円

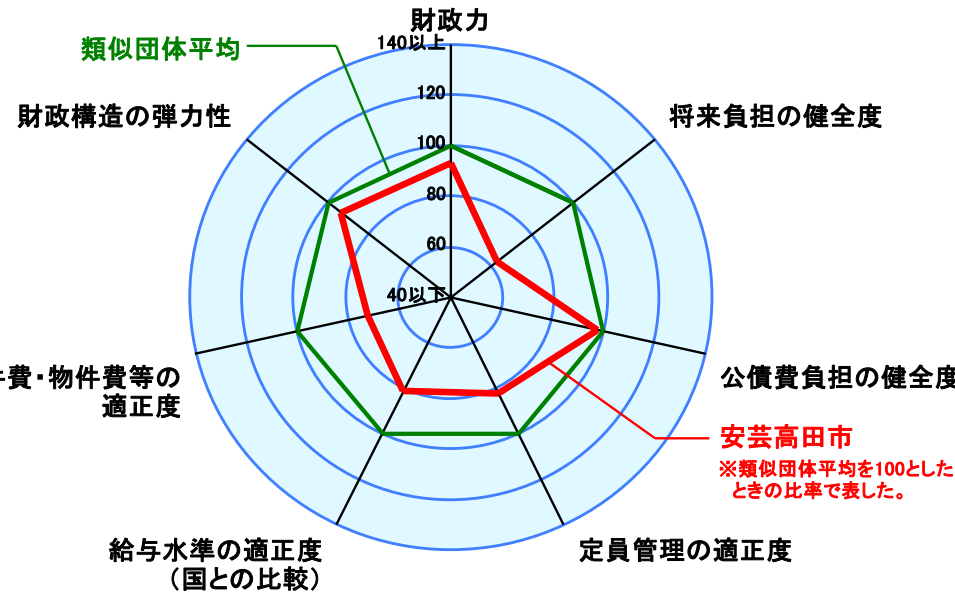
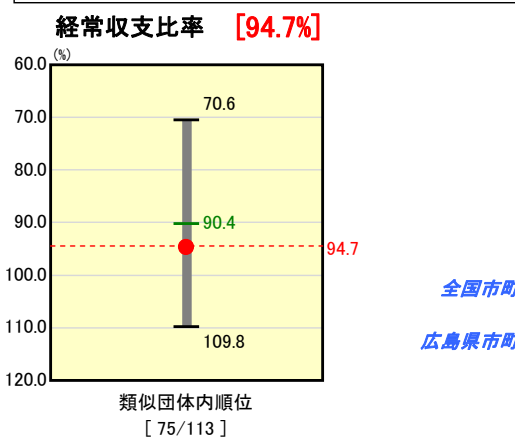
### 財政力



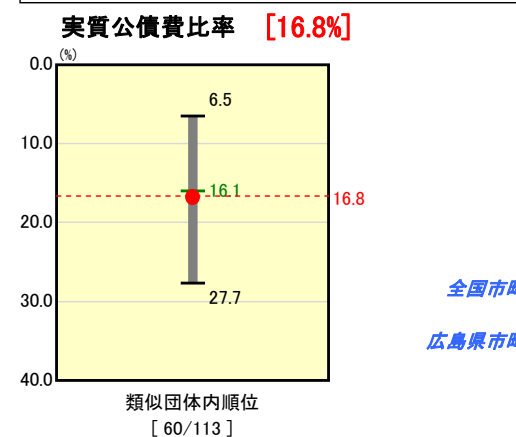
### 将来負担の健全度



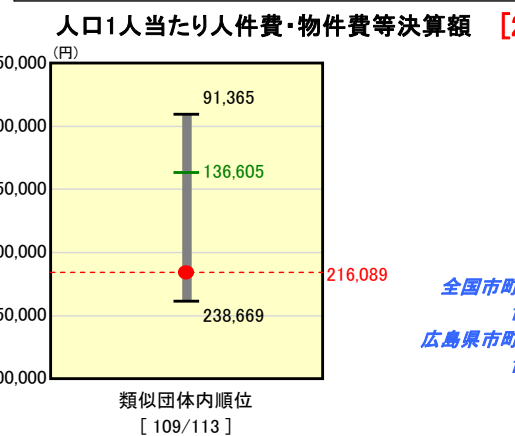
### 財政構造の弾力性



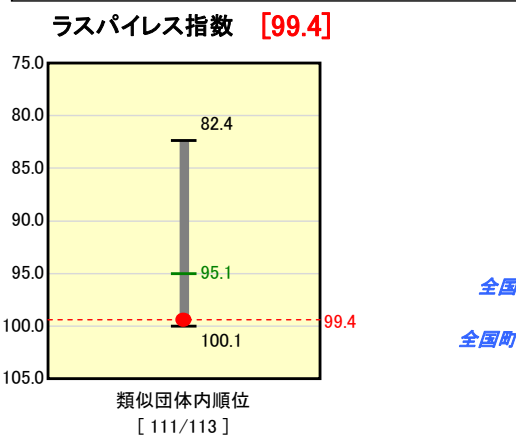
### 公債費負担の健全度



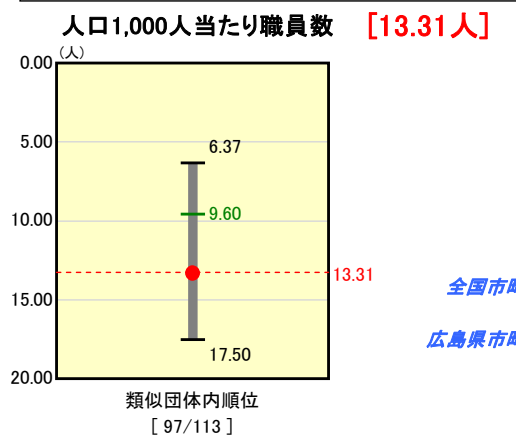
### 人件費・物件費等の適正度



### 給与水準の適正度 (国との比較)



### 定員管理の適正度



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

**分析欄**

**【財政力指数】**  
 ・人口の減少による過疎化や高齢者人口の増加に加え、長引く景気低迷により、税収は伸び悩み、財政基盤は弱く、0.33と類似団体平均を下回っている。組織の見直し、退職者不補充等による職員数の削減、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の見直しと、税収の徴収率向上対策、使用料等の見直しによる歳入確保に努め、行政の効率化と財政の健全化を図る。

**【経常収支比率】**  
 ・公債費及び物件費の増加により、94.5%と類似団体平均を上回っている。公債費については、高利率の地方債の借換等による償還費の削減を図るとともに、集中改革プランに掲げた職員の適正管理への取り組み等の実施により、今後一層の経費削減に努める。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
 ・類似団体と比較して金額が上回った要因としては、合併により一部事務組合が市の直営となったこと、また、市内に多数点在する、類似施設の維持管理経費の増加が考えられる。今後は、これらの民間委託、整理統合も視野に入れ適正管理に努める。

**【ラスパイレース指数】**  
 ・ラスパイレース指数は、99.4と前年より1.7ポイント上昇した。この数値は、全国市平均の97.4を、2.0ポイントも上回っており、きわめて高い水準にあるため、平成19年度は、給与抑制措置(基本給1~6%カット)を実施することとし、さらに給与制度全般を見直すことにより、より一層の給与の適正化に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
 ・合併前後の投資的事業の重点実施により、地方債の発行額が増加し、類似団体を大きく上回っている。後世への負担を少しでも軽減するよう、今後の事業実施については、施策評価の導入に取りかかるなど総点検を行い、緊急度の高い事業に限って実施し、財政の健全化を図る。

**【実質公債費比率】**  
 ・普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均をやや上回っている。今後は過去の経緯にとらわれることなく厳正な事業評価を行い、起債依存型の事業実施を見直す。また繰上償還や借換債の発行などにより償還額の平準化を図り、実質公債費比率の急激な上昇を抑える。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
 ・合併後、退職者不補充や新規採用の凍結などに取り組んできたが、人口当たり職員数は、13.31人と類似団体平均9.60人に比べて、大きく上回っており更なる削減が必要である。今後とも、集中改革プランに沿った事業の見直し等により、安芸高田市が目標として掲げる平成22年度までに職員数を9.4%削減する等、より適切な定員管理に努める。